

REETING:挨拶

私の身のまわりで起きたこと、最近私が考えている事。

近況報告

いつも、ありがとうございます。

2012年2月13日、15時10分に次女“くるみ”が誕生しました。

長女さくらの時と同様に、今回も無事出産に立ち会うことができました。何もわからずに分娩室であたふたしていた前回とは違い、今回はある程度勝手もわかっています。さくらの時には、「お父さん、そこ邪魔!あっちに行って!!」と看護師さんに怒られてばかりでしたが、今回は分娩室に入るやいなやスムーズに怒れない場所に移動。しっかりと妻を励ますことができました。産まれた直後も、さくらの時には妻とさくらが泣き止んだ後も延々一人分娩室で泣き続けていた私ですが、今回はポロッと一粒涙がこぼれただけで笑顔でくるみを迎えることができました。今回も



幸運なことに4時間での出産と安産ではありましたが、やはり出産は女性にとって命懸けのたいへんな大仕事です。普段穏やかな妻が歯をくいしばって必死に頑張っている姿を見て、再び感動したと同時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これで坪山家も4人家族です。さくら一人でも相当にぎやかな家庭になりましたが、女の子二人ですからさぞかし楽しい家庭になるのではワクワクしています。

さくらは、くるみが生まれて嫉妬を感じることも多々あるみたいです。僕がくるみを抱っこしていると、くるみを置いといて私を抱っこしろと要求してきます。今のうちに娘二人から取り合いになる幸せを十分に味わっておこうと思います。(くるみは、まだ何もわかっていませんが…)

家族が増えて、幸せと共に不安や心配事が出てきているのも事実です。妻も、子どもが二人になって、ちゃんと育てていけるだろうか…と言っていたことがあります。もちろん私自身も同じように不安に思うこともあります。

親として大切なのは子どもに愛情をたくさん注ぐことと、親である私と妻自身が真っ直ぐに生きていくことだと思います。私自身が正々堂々と真っ直ぐに生きていけば、自然と子どもは真っ直ぐいい子に育っていくと思います。



これまで、さくらには嘘やごまかしは極力避けて正直に接するように意識してきました。子どもは親が思っている以上に物事の分別が付いていますし、しっかりしていると思います。子どもだからといって、決して侮らずこれからも真剣勝負で接していきたいと思っています。

4人家族になった坪山家を、今後とも末永くよろしくお願い致します。

感謝!!